

久留米市議会 令和6年度議員研修会
「近隣市議会における議会改革の取り組みについて」

古賀市議会における
取り組みについて
～政策推進会議や
大学とのパートナーシップ協定を中心に～

2024年10月7日（月）

奴間健司（福岡県古賀市議会・議運委員長）

	久留米市		古賀市
人 口	3 0 0 , 3 2 7 人	5 倍	5 9 , 2 6 8 人
世帯数	1 4 2 , 7 6 2 世帯	5 . 2 倍	2 7 , 2 6 3 世帯
面 積	2 2 9 . 9 6 Km ²	5 . 5 倍	4 2 . 0 7 Km ²
一般会計	1 4 6 4 億円	5 . 5 倍	2 6 7 億円
議員数	3 6 人	1 . 9 倍	1 9 人
常 任 委員会	総務 (9) 教育民生 (8) 経済 (9) 建設 (9)		総務 (6) 文教厚生 (6) 市民建産 (6) ※任期は4年

議会運営委員会

委員名	会派
奴間健司（委員長）	友和
井之上豊（副委員長）	公明党
古賀誠視	市民クラブ
福崎トビオ	自由クラブ
松島岩太	自由クラブ
大賀文子	山海会
森本義征（委員外議員）	副議長



議会の運営
議長の諮問
議会基本条例の達成状況の検討

古賀市議会の歩み

模索

1995年

- 「議会だより」の発行
- 議会閉会中の所管事務調査
- 一日一委員会の開催
- 議長裁量による一問一答

検討

2007年

- 議会活性化特別委員会
- 議会基本条例の視察研修
- 三重県議会事務局次長による研修会
- 「基本条例は、来任期における重要な検討課題」

実現

2011年

- インターネット中継・録画配信の開始
- 2014年4月、議会基本条例の施行
- 災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

定着

2015年

- 議会改革の定着、継続
- 議会版BCP
- 地方創生対応
- スマホ、iPad対応
- 政策推進会議提言

継続

2019年

- 議会改革継続
- 政策推進会議・気候変動
- コロナ対応と基本条例改正・BCP改定
- タブレット

〇〇

2023年

- 議運で改選後の議員研修会
- タブレット本格活用
- 二つの特別委員会設置（浄水場、JR古賀駅）

議長就任の所信表明（奴間健司・5期目・2011年5月）

第1に、魅力と誇りある古賀市を目指す。古賀市の持てる特徴を最大限に生かし、市民の皆様の幸せ、環境、福祉、子育て、教育、そして産業振興など魅力あるまちづくりを実現するため、議会として19名の議員全員で積極的に役割を果たすよう努力する。

第2に、開かれた議会の充実を目指す。議会だよりの充実や議会のインターネット中継、録画の配信、議会ホームページの充実、議会主催の報告会の開催、市民が傍聴しやすい環境整備に取り組む。

第3に、議会の役割を発揮するために努力。議案に対する活発な質疑、決算審査の充実と予算や施政方針への反映、各常任委員会における所管事務調査と提言、各種団体との意見交換等の充実に取り組む。議会全体での研修会、議会基本条例の制定や第4次総合振興計画の策定について取り組む。

第4に、民主的な議会運営。日ごろからの議員同士のコミュニケーションに加え、議員連絡会の定期開催、必要に応じた会派代表者会の開催、正副議長と事務局との定期的打ち合わせなどに取り組む。

第5に、議会事務局の充実。議会事務局の職員が仕事をしやすい環境整備に配慮し、議員の調査研究活動、政策づくりなどに対するサポート体制の充実に向けて配慮する。

2011年
3月11日

2015年
1月31日

2017年
6月27日

2020年
3月6日

2021年
3月26日

2022年
3月23日

2022年
8月5日

東日本大震災

2014年4月議会基本条例施行

議会の災害対応要綱
行動マニュアル策定

議会版BCP策定

コロナ禍

災害対応要綱に基づき
コロナ対策会議設置

災害・感染症対応の
基本条例、会議規則改正
第2次議会版BCP

オンライン委員会対応
基本条例、会議規則改正

タブレット全員に貸与

初めてオンラインで議運を開催 2023年 8 月25日



政策推進会議

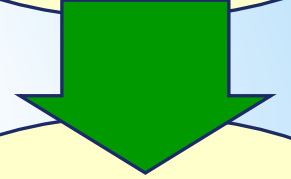
政策推進会議の役割

議員全員で 政策立案を推進します

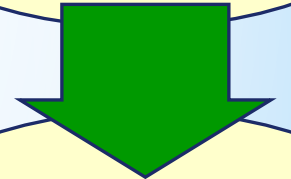
議会基本条例・第13条

- 市政に関して重要なものについて、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、**政策推進会議**を開催することができる
- 提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる

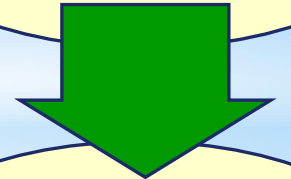
議員間
共通認識



合意形成



政策立案



市長提言
政策条例

2回目となる政策テーマ発表会

6人が8テーマを発表

2019年
10月18日

- ①福岡堅樹選手の名誉市民顕彰
- ②古賀市健康づくり条例の議員提案
- ③移動手段確保のための「こがバス」再編計画の提言
- ④公共交通について（コガバス路線拡大）
- ⑤環境について（プラゴミ削減）
- ⑥ユニバーサルマナー宣言都市古賀を目指す
- ⑦農林業の振興
- ⑧気候変動（地球温暖化）に対する対応



役員会で
テーマを
選定

全体会で
テーマを
決定

壱岐市の「気候非常事態宣言」 SDGs未来課長を講師に研修



● 「小さなことでも
姿勢を示すことが大切」
「地球環境が取り返しが
つかなくなる前に行動を」
(講師の言葉)

第2回目の政策推進会議全体会研修会
2020年1月20日

政策推進会議

気候変動に関する研修

テーマ	講師	実施日
① 2100年の天気予報	環境省作成	2019年12月18日
② 壱岐市の気候非常事態宣言	壱岐市SDGs 未来課長	2020年1月20日
③ 地球温暖化と自然災害・熱中症	粕屋北部消防署	2020年6月18日 オンライン研修会
④ 地球温暖化対策実行計画	古賀市環境課	2020年9月18日
⑤ 企業における取組・蓄電池	正興電機製作所	2021年1月19日 オンライン研修会
⑥ 地球温暖化に取り組む市民活動	市民3人の講師	2021年4月20日
5月：温暖化対策改正案成立 2050年ゼロ明記		7月：温室効果ガス削減政府案公表 全体26%から46%削減に



オンライン研修会・粕屋北部消防本部



オンライン研修会・第1委員会室

古賀市議会政策推進会議 オンライン研修会(6月18日)

地球温暖化と自然災害・熱中症について学ぶ

西日本新聞記事
6月23日朝刊

古賀市議会と消防が
オンライン会議研修

コロナ対策注意喚起

古賀市議会全議員で構成する政策推進会議は18日、粕屋北部消防本部(同市)とオンライン会議システムを使った研修会を開いた。今夏は風水害対策に加え、新型コロナウイルス感染症と熱中症への備えが大きな課題となる。議員たちは消防職員の講義を聞きながら、例年とは異なる非常

事態への認識を新たにした。

同消防本部は新型コロナウイルスにより生活様式が変わる中、注意が必要な局面について説明。特に感染予防のマスク着用で体に熱がこもり、熱中症の危険性が高まることから、「マスクを外しての休憩と、早めの補水が重要」と指摘した。

また「新型コロナウイルスと熱中症は発熱や倦怠感など症状が似ていて見分けにくいケースがある」と注意喚起。搬送の際は消毒や防護を徹底することなど、医療側との緊密な連携が必要であることを説明した。

(今井知可子)

地球温暖化対策・提言内容の重要度意向調査

プラ削減、マイボトル推進

プラスチック削減、マイバッグ、マイボトルの推進
地球温暖化について市民に周知・啓発.市民、団体、事業所表彰
マイボトル、マイバッグ推進・古賀市議会宣言
地球温暖化の気候変動問題に対して林活議連の再稼働
気候非常事態宣言やゼロカーボンシティ宣言の提言
熱中症予防、豪雨、巨大台風に対する備え、情報提供と避難対策
気候非常事態宣言やゼロカーボンシティ宣言を求める決議案
「脱炭素地域をめざす基本条例」などの政策条例
2022年度の施政方針をにらんだ提言(11月)
太陽光、蓄電池設置補助、初期投資ゼロ円プラン活用
第5次総合計画への提言(8月パブコメ終了前)
うちエコ診断、エコふぁみの活用普及
第5次総合計画に対する提言

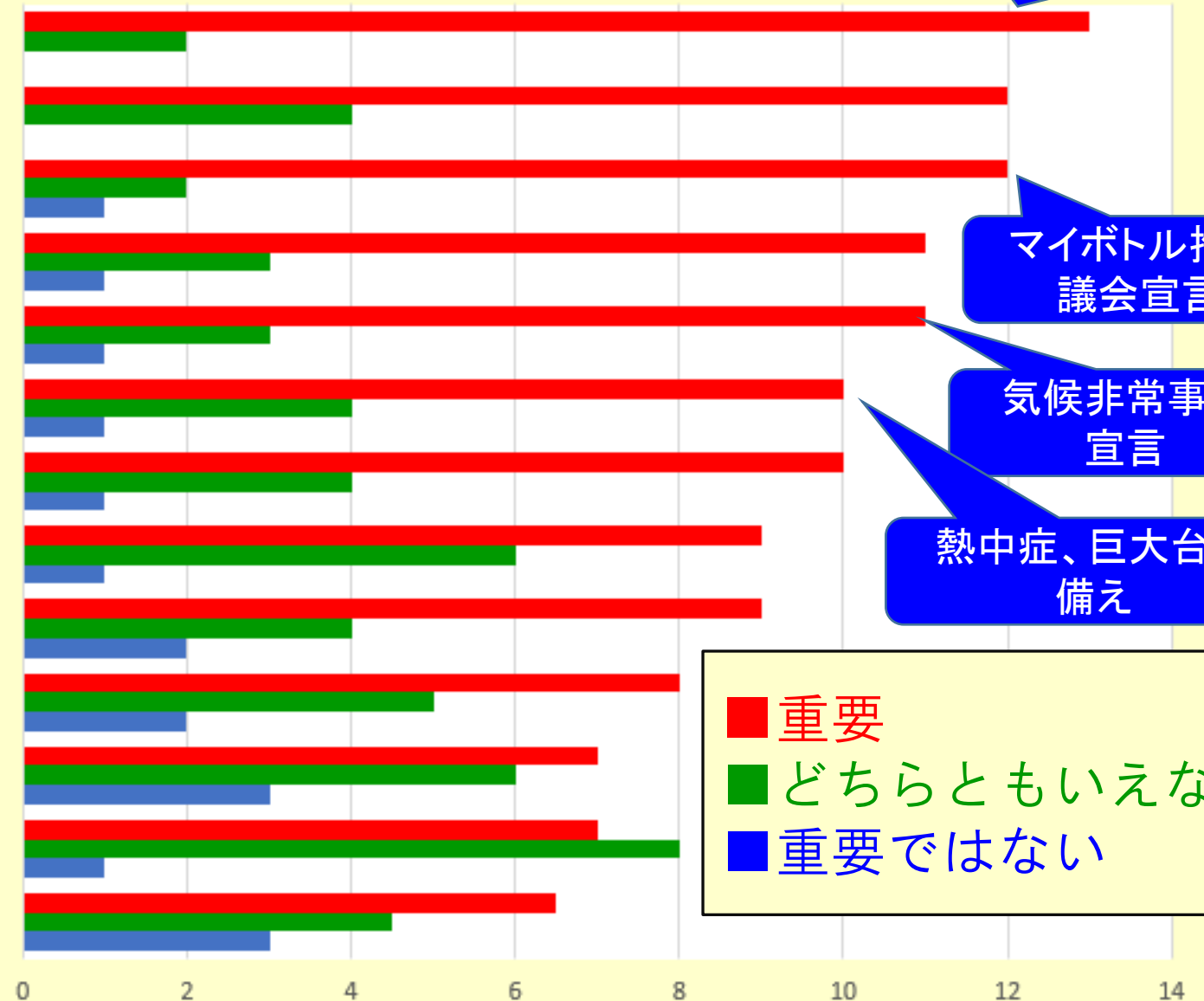
マイボトル推進
議会宣言

気候非常事態
宣言

熱中症、巨大台風
備え

重要
どちらともいえない
重要ではない

重要度
意向調査



2年間の研修・議論を経て政策提言

2021年11月25日

地球温暖化に対する 議会の政策提言

- ① **ゼロカーボンシティ宣言**を行うなど
市としての姿勢や目標を明らかにすること
- ② **4 R運動**推進や**公共交通利用促進**など市民の
行動変容を促す周知・啓発に取り組むこと
- ③ 山、川、海とつながる特徴を踏まえ、
プラスチックごみ削減運動を広げること
- ④ 公共施設をはじめ**太陽光・蓄電池設置**など
再生可能エネルギーの導入を促進すること
- ⑤ 異常気象が引き起こす**熱中症、土砂災害、
暴風雨**などに対する備えを促進すること

議会として
市長に政策提言
2021年11月25日



田辺市長、本会議で
ゼロカーボンシティ宣言
2021年11月30日



古賀市議会の取り組み 月刊ガバナンス2月号に掲載 政策推進会議の地球温暖化対策 提言を紹介（2022年）



政策推進会議の実績

議会
災害対応

2015年1月

議会災害
対応要綱

災害時議員
行動マニュアル

地域
公共交通

2017年2月

公共交通体系
確立に向けた提言

※バス乗車調査
※市民アンケート

地域
防災

2018年6月

地域防災提言
※防災基本条例の
早期制定
※発災後72時間の
行動パターン

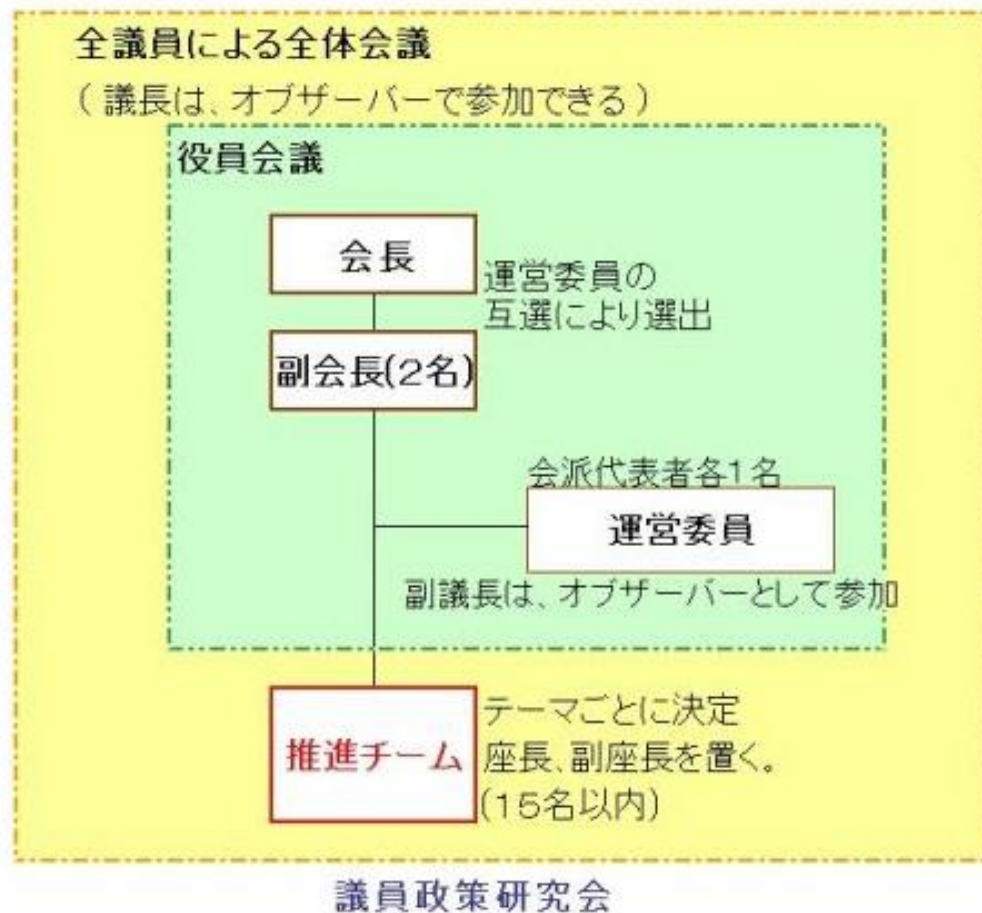
気候
変動

2021年
11月

地球温暖化対策
政策提言
ゼロカーボンシティ
宣言など

議員政策研究会の政策条例づくりフロー

1. 組織の結成(イメージ図)



事務局
政策調査室

全体会議

定足数 3分の2以上
採決 過半数

担当事項

- 1 政策課題の募集及び確定
- 2 研究会において策定する
条例案等
- 3 その他研究会の運営に
関する重要な事項

役員会議

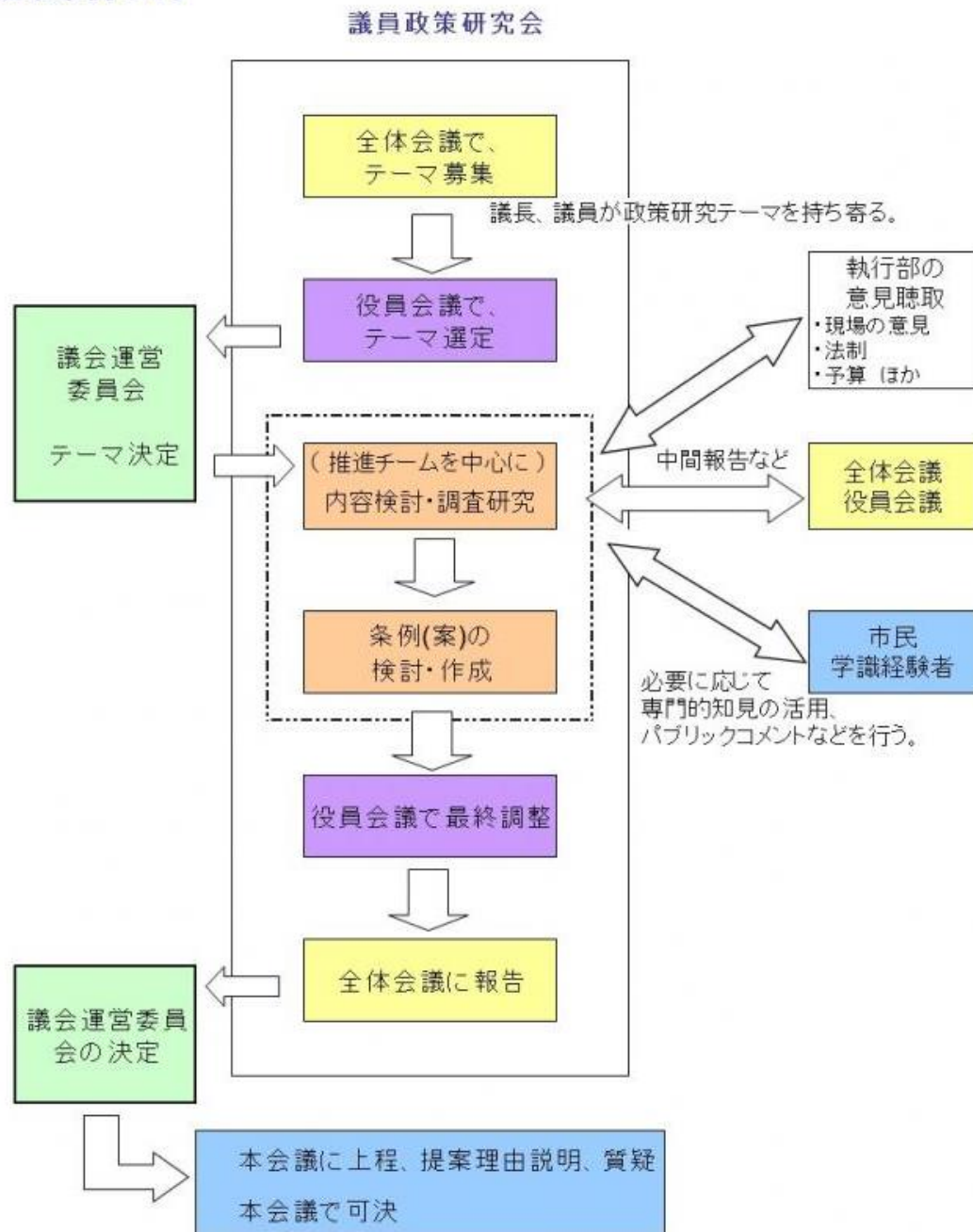
全体会議に付すべき重要事項
を決定

推進チーム

政策課題を具体的に調査研究
する。

大分市議会 議員政策研究会

2. 政策条例づくり



これまでの成果

- 大分市議会基本条例
平成20年12月制定
- 大分市子ども条例
平成23年3月制定
- 災害対策に関する提言
平成24年12月提言
- 大分市民のこころといのちを守る条例
平成27年9月制定
- 大分市健康づくり推進条例
平成30年12月制定
- 投票率の向上対策に関する提言
令和2年9月提言
- 大分市若者応援条例
令和4年12月制定

議会報告会

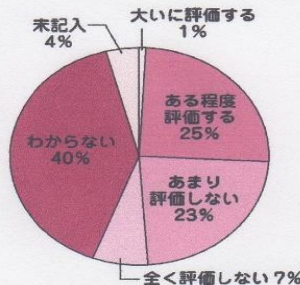
議会報告会

議会を身近にする市民アンケート
2011年10月実施
2000人配布、456人回答
議会報告会要望 48%
インターネット見る 57%

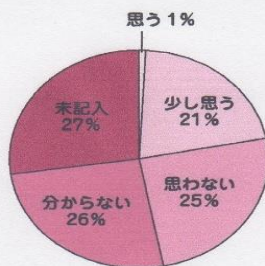
市民の声を聞く会
2011年11月22日開催
39人参加
議会報告会を行政区ごとに開催を
議会基本条例に期待している
議員のやる気と質の向上が必要

「議会を身近にする市民アンケート」 「市民のみなさんの声を聞く会」を開催

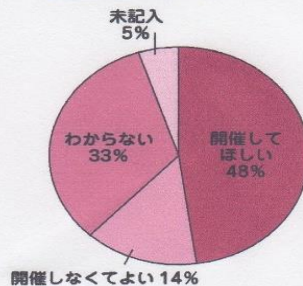
古賀市議会の動きをどの
ように思いますか。



市民の声が市議会に反映
されていると思いますか。



議会報告会の開催につい
てどう思いますか。

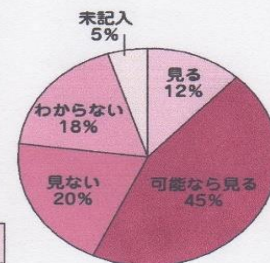


アンケート数	回収数 (通)	回収率 (%)
2,000	456	22.8

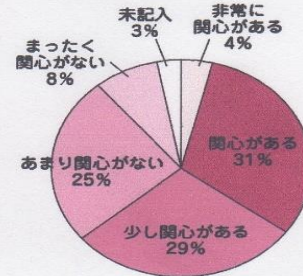
昨年の6月定例議会で設置された「議
会基本条例等調査特別委員会」では、さ
まざまな見地から、議会基本条例につ
いて調査研究中です。
昨年の10月には、市民2000人を対
象にした「議会を身近にするための市民
アンケート調査」を実施。456人から
回答を頂き、自由記述では、たくさん
の貴重なご意見をお寄せいただきました。

議会が何をしているか分からない、議
員はもっと勉強するべき等のご意見もあ
りましたが、議会だよりを楽しみに読ん
でいる、議会の活性化に期待している等
のご意見も多く頂きました。市民の皆さ
んの議会に対する評価を改めて認識しま
した。
これからも、市民の皆さんに信頼され
る、開かれた議会を目指したいと思います。

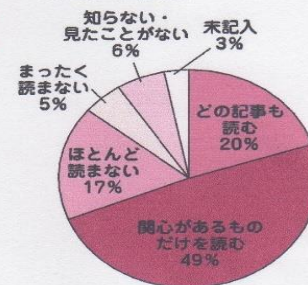
インターネットによる議会
の中継・録画配信をどう思
いますか。



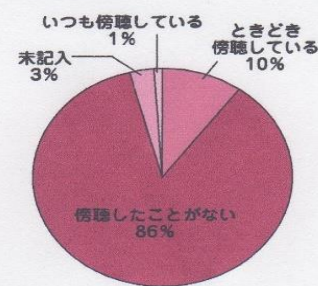
あなたは議会に関心があ
りますか。



「古賀市議会だより」を読
んでいますか。



議会傍聴をしたことがあ
りますか。



議会での初めての取り組み
アンケート調査で、市民456人から回答

議会報告会

会場の全景
2014年7月20日・リーパス



前期

年 度	参加者数
2014年度 3会場（7月）	103人
2015年度 1会場（11月）	18人
2016年度 3会場（10月）	70人

初の議会報告会に103人が参加、よかったと評価

- 7月18，19，20日の議会報告会に市民103人が参加
- アンケートには開催を評価する声が記入

議会報告会



議会の説明責任、住民意見聴取の場



対話とは新たな気づき、前向きな行動の契機



地域課題の解決が可能、地域に変化

カフェ方式
議会報告会
2015年
11月14日



今期初めての議会報告会
2024年4月20日

志免町議と語る会
見学予定
11月22日



各常任、決算、政策推進會議報告・25分

カフエ方式



各常任テーブルごとの対話・40分

全
体
質
疑
・
1
5
分

福岡女学院看護大と のパートナーシップ 協定について

議会基本条例がスタート（2014年4月）

関心事の一つが政策提言力の向上

全国市議会議長会研究会で
議会と大学のパートナーシップ協定の事例発表

福岡女学院看護大学と協議開始

パートナーシップ協定締結（2015年2月）

古賀市議会と福岡女学院看護大学との パートナーシップ協定書

古賀市議会（以下「議会」という。）と福岡女学院看護大学（以下「看護大学」という。）とは、両者の連携と相互協力に資するため、次の通り協定締結する。

（目的）

第1条 この協定は、市民を代表して市政に関する意思決定を行う議会と、知的資源を集積する看護大学がパートナーシップを構築することにより、それぞれが持つ資源を有効に活用し、地域社会における政策課題への適切な対処と、地域の発展に資することを目的とする。

（協力事項）

第2条 前条に定める目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について、議会及び看護大学は相互に連携、協力をするものとする。

- (1) 健康づくりについての意見交換、研修の機会
- (2) 議会の政策形成能力の向上に関すること
- (3) 看護大学の教育研究環境の充実に関すること
- (4) 前3号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために、議会及び看護大学が協議の上、必要と認められる事項

（協定期間）

第3条 この協定の有効期間は、協定締結の日から平成16年）3月31日までとする。ただし、この協定の有効期間満了の日の1ヶ月前までに、議会又は看護大学から本協定の更新又は解消の申入れがないときは、同一条件によりさらに更新するものとし、その後もまた同様とする。

（その他）

第4条 この協定に定めるもののほか、議会と看護大学との協力に關し必要な事項については、両者協議の上、別に定めるものとする。

本協定の成立を証するため、協定書2通を作成し、議会及び看護大学がそれぞれ署名押印の上、各1通を保有するものとする。

平成27年（2015年） 2月24日

古賀市駅東1丁目1番1号

古賀市議会

議長

奴間 健司

古賀市千鳥1丁目

福岡女学院看護大学

学長

西岡 三馨

目的

地域社会
政策課題
適切な対処
地域の発展

協力事項

健康づくり
意見交換
研修

議会の
政策形成
能力向上

大学の
教育環境
充実

福岡女学院看護大学と古賀市議会 パートナーシップ協定を締結 (2015年2月24日)



テレビニュースで報道されました

看護大学の松尾和枝教授が
議場で記念講演
(2015年2月24日)

パートナーシップ協定に基づく取り組み



福岡女学院看護大学の松尾教授が
県市議会議長会研修会で講演

2015年10月15日
健康寿命延伸、議会と大学との
パートナーシップ協定を発信



第10回
福岡女学院看護大学の
学生3名が一般質問を
見た上で
議員にインタビュー
議員活動の
あり方についても質問
2024年6月26日

松尾教授が10年を
振り返って講話



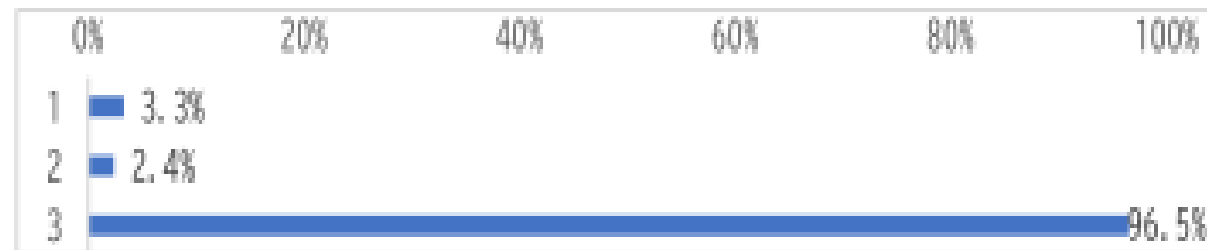
福岡女学院看護大学の
学生との交流 10年継続
2024年6月26日

学生による地域診断発表
会や防災セミナー等にも
参加しました

41. 議会が他機関・団体と連携する仕組みや2023年中の実績はありますか。

大学(その研究機関含む)

	n	%
全体	1562	
1 仕組み	51	3.3%
2 2023年中の実績	37	2.4%
3 該当しない・未回答	1508	96.5%



●大学と連携する仕組みがある議会

51 / 1562 3.3%

●2023年度中の実績がある議会

37 / 1562 2.4%

議会改革度調査2023

～ 調査報告書その1～

総合ランキング



早稲田大学マニフェスト研究所
議会改革調査部会

龍谷大学と大津市議会がパートナーシップ協定を締結 2011年11月29日

龍谷大学は、これまでに大学院NPO・地方行政研究コースにおいて、37自治体・1議会と「地域人材育成にかかる相互協力に関する協定」を締結し、それに基づいた推薦入学制度と、若手院生の研究を支援する協定先へのインターンシップ（単位認定）も実施している。龍谷大学と議会の協定締結は、茨木市議会（2010年締結）に続いて2例目だが、滋賀県内の議会と大学との連携は今回が初となる。

今後は、大津市議会との間においても茨木市議会と同様の人的交流を含んだ協定を結び、**議員の大学院入学受入や、議会へのインターンシップ派遣**などをすすめる予定である。

龍谷大学 赤松徹眞学長

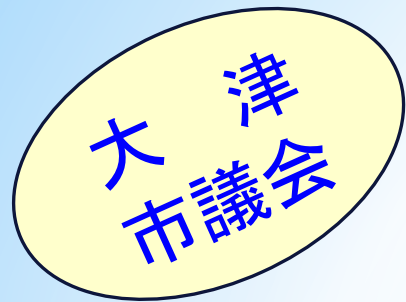
「地方分権に伴う市議会の改革などに関わらせていただくことで、これまで以上に地域社会に貢献させていただくとともに、学生の学びや教員の研究の場をご提供いただきながら、本学のさらなる飛躍も図りたい。」

石田徹・大学院政策学研究科長

「今年4月に開設した**政策学部や政策学研究科を中心とする教員が議会改革に向けた研修に携わる**ことで、大学の社会貢献につながればと考えている。」

大津市議会 北村正二 議長

「龍谷大学とのパートナーシップの構築を機に、大津市議会の**政策立案機能を強化**し、二元代表制の深化を図るとともに、**大学教育にも貢献**することによって、より市民に開かれた議会を実現してまいりたい。」



インターンシップの学生が議会へ

立命館大学、龍谷大学とのパートナーシップ協定に基づき、インターンシップの学生を大津市議会として受け入れています。今回は私たちの会派には2名の学生が来てくれました。

前峠沙耶さん（立命館大学）

この度の市民ネット21会派でのインターンを経て大学や普段の生活からでは触れることのない貴重な体験をさせて頂きました。市議会という地方自治の最前線で会議や委員会を体験することで、大津市の現状や今後をよりよくしていくための活動をされているのだと実感できました。教育、保育や福祉の他にも私が普段意識することのない課題が多岐にわたって議論されており、問題自体について新しい学びや発見がありました。市民ネット21での学びと発見を今後活かして学習に取り組んでいきたいと思います。

鈴木佑佳さん（龍谷大学）

住民自治の地域福祉に興味があり、市民を代表し行政に声を届ける役割を担う大津市議会へ参加させて頂きました。大学で学んでいる利用者を主軸とした福祉の視点とは異なる、行政の視点から福祉サービスを捉えることで、教科書には載っていないサービス実現までの課題や、地域福祉の難しさ、且つ改めて重要性を学びました。この度の学びを活かして、より良い地域福祉の実現へ向けた方法を勉強していきたいと思います。また、市内を案内して頂いて、新たな大津市の魅力を知ることが出来ました。貴重な経験をありがとうございました。

各種委員会と 委員長報告

閉会中の所管事務調査

各課から文書資料とともに各事業等の進捗状況の報告を受け、質疑を行う。

委員長自身で
報告書作成
事務局は委員
会録等を提供

総務委員会（総務部）

（1日間）

文教厚生委員会（教育部、保健福祉部）

（2日間）

市民建産委員会（市民部、建設産業部）

（2日間）

委員長報告全文
をホームページ
にアップ

3委員長の報告
A4版4ページ程度
45分程度

議会閉会中の所管事務調査報告

定例会初日の本会議

会期中

総務

文教
厚生

市民
建産

予算特別委
決算特別委
補正特別委

定例会最終日の本会議
付託議案の審査結果報告
会期中の所管事務調査報告

インターネット
中継・録画配信

定例会最終日の本会議
議会閉会中の継続審査付託

議会 基本条例

(委員会の適切な運営)

第14条 議会は、社会経済情勢の変化等により新たに生じる行政課題等に迅速かつ的確に対応するため、**委員会の専門性と特性を考慮し、委員会を適切に活用**するものとする。

2 委員会は、所管事務調査等により、**市民又は団体と意見を交換するための懇談会**を積極的に行うよう努めるものとする。

常任委員会における
質疑、自由討議、
討論、採決の充実

- ✓ 疑義解明の質疑になっているか
- ✓ 意見、要望になっていないか
- ✓ 質疑後に委員間討議が行われているか

常任委員会における
所管事務調査の充実

- ✓ テーマをどうやって決めているか
- ✓ ヒアリング、先進事例視察、専門家の知見聴取をしているか
- ✓ 結果報告、提言をどう取りまとめるか

古賀市議会

文教厚生常任委員会

10月17日に香川県高松市の
小児生活習慣病予防健診事業を視察

香川県を注目する理由



1987年から松原奎一医師が中1対象に血液検査

37年

2009年から三木町が小4対象に血液検査

15年

2012年から全市町で小4対象に血液検査

12年

受診率（2021年度・県平均）
小4：91.3%。中1：88.1%

家族性高コレステロール
早期発見に功を奏す

なぜ子どもも特定健診か？

①

小児期から糖尿病、高血圧症
生活習慣や食生活の変化⇒生活習慣病の危険因子を持つ
子どもの増加

②

小児期における早期発見⇒生涯にわたる健康維持の一助

③

健診結果・データの把握⇒自分の体を知る・自己管理能力

ご清聴ありがとうございました
ご質問、ご意見をお願いします